

胃部X線(バリウム)検査を受けられる方へ

～裏面も検査前に必ずお読みになり、別紙「胃部X線(バリウム)検査前の確認票」及び、「胃検診受診票」の太枠部分のご記入を黒ペンでお願いします～

I. 胃バリウム検査について

胃バリウム検査は、食道・胃・十二指腸の病気の発見と診断のために行います。検査後は、バリウムを排泄する必要があるため、下剤と多めの水分を服用して頂きます。

バリウムの水分は大腸で吸収されやすくなり、普段便通が良い方でも、空腹でバリウムを飲むのでバリウムが出づらくなる事があります。バリウムが出ない時は、まれに腸閉塞や大腸の穿孔、その結果として腹膜炎などの重篤な症状を引き起こし手術や人工肛門が必要となる事があります。そのため、検査後は下剤と一緒にお渡しする「胃部 X 線(バリウム)検査終了後の下剤と水分摂取の注意事項」をお読みになり、水分摂取を心がけ、すみやかにバリウムを排泄するようにして下さい。

*検査当日はアルコール類を控えて下さい。アルコールの利尿作用により、バリウムが出づらくなる事があります。

*検査後に、腹痛や気分が悪い等の症状や、検査後1日を経過しても白っぽい便が出ない等の症状がある方は、夜間や休日でもすみやかに救急病院を受診して下さい。診察医には、胃のバリウム検査後であることを伝えて下さい。

*検査後数日はバリウムが胃や腸の粘膜に残りやすいので、便秘にならないよう気を付けて下さい。

★授乳中の方は下剤をもらう際にお申し出下さい。専用の下剤を用意しています。

II. 胃バリウム検査前の注意事項

<検査前日>

- *午後 9 時以降から検査が終わるまで、食べ物(ガム・飴等を含む)・水以外の飲み物等は一切とらないで下さい。(水は、検査の 2 時間前までは飲水可能です。)
- *食事は消化の良いものを食べ、アルコール類は控えて下さい。

<検査当日>

- *脱水予防のため検査2時間前までにコップ 1 杯程度の水をお飲み下さい。
- *起床後から、検査が終了するまではタバコを控えて下さい。
- *検査当日に摂取した場合、胃バリウム検査が受けられないもの: 食べ物(ガム・飴等を含む)、水以外の飲み物(お茶、炭酸水、コーヒーなど味のある飲み物)

*お薬について

①糖尿病の薬(インスリン注射の使用も含む)、胃薬は服用(使用)しないで下さい。

※どうしても朝、服用(使用)しなければならない病状にある方は、主治医のもとでの胃検診をお勧めします。

②てんかん・けいれん止めの薬を朝服用している方は、発作予防のため検査2時間前までにコップ1杯程度の水で必ず服用して下さい。

③主治医から朝服用するよう指示された薬で、高血圧の薬・心臓の薬・精神安定の薬・喘息の薬(吸入薬も含む)は、検査2時間前までにコップ1杯程度の水で服用して下さい。※その他の薬は検査終了後に服用して下さい。

<検査直前>

- *入れ歯(小さいブリッジ)など外れやすい物は安全のため外して下さい。
- *金具、ボタン等の金属、プラスチック類が付いている衣類や装飾類は診断の妨げになるため、事前に外して下さい。

Ⅲ. 胃バリウム検査を受診できない方

～ 裏面も検査前に必ずお読みになり、下記に該当する項目がない場合は別紙の太枠部分を黒ペンでご記入下さい～

(※安全確保のため、下記の項目に該当する方は胃バリウム検査を受けられません。予めご確認下さい。)

1. 今朝、飲食した方(食物が胃に残り検査不可)
2. 本日、発熱(37.5℃以上)がある、または体調が悪い方(ひどい咳・腹痛・下痢・腰痛・頭痛・関節痛、喘息発作症状、めまい等)
3. 検査前の血圧が高い方(血圧 160/100mmHg 以上)
4. 今朝、タバコを吸った方(タバコの刺激で胃液分泌が起こる)
5. 今朝、糖尿病の薬を飲んだり、インスリン注射を使用した方(低血糖の可能性)
6. 今朝、胃薬(胃粘膜保護の薬)を内服してきた方(胃の粘膜にバリウムが付着しにくい)
7. 主治医から、毎朝てんかんやけいれん止めの薬を内服するよう指示されているが、今朝飲んで来なかった方(検査中に発作が起こる恐れ)
8. 現在、妊娠中またはその可能性がある方(胎児への放射線障害の影響)
9. 体重 130kg 以上ある方(検査台の耐荷重制限あり)
10. 人工透析をしている方やその予定のある方、または腎臓病や心臓病等により、医師から水分制限を指示されている方
11. これまでに、バリウム検査でアレルギー症状(かゆみ・ショック症状等)がでた、気分不良になった、バリウム検査後の便が出づらかった事がある方
12. 一人で立てなかつたり、検査台上で横になり6回転する事ができない方
13. バリウムの誤飲経験がある、または飲食時によくむせる事がある方
14. 普段、排便が困難な方や、高度の便秘の方(バリウム停留による腸閉塞・消化管穿孔の危険性)
 - イ)3ヶ月以内に急に便秘がちになった方
 - ロ)便秘とともに腹痛がある方
 - ハ)3日以上便が出ず、下剤を飲んでも便が出づらい方
 - ニ)検査当日を含め便秘 4 日目の方
15. 2～3ヶ月以内に便に血(鮮血・黒色等)が混ざる事があった方
16. これまでに食道・胃・十二指腸・小腸・大腸等の消化管の手術(開腹・腹腔鏡下手術)等を受けた、または何らかの治療を受けた事がある方(人工肛門造設も含む)
17. 脾臓・肝臓・胆のう等、腹部の手術を行い、その際、胃や腸も切除した事がある方
18. 小腸・大腸憩室炎(憩室がある)、腸閉塞(イレウス)、腸捻転、潰瘍性大腸炎、クローン病、小腸・大腸がん等、腸の病気を指摘された事がある方
19. ★胃・大腸ポリープ切除後3ヶ月以内の方、または切除して3ヶ月経過後も定期受診を勧められている方(主治医の許可があれば検査可)
20. ★6ヶ月以内に何らかの手術を受けた方(6ヶ月経過していても、術後初めて受診する場合は主治医の許可を得ることが望ましい)
21. ★3ヶ月以内に狭心症や心筋梗塞等の心臓疾患を発症した方(症状は無く、検査にて心臓疾患を診断された方は、主治医の許可があれば検査可)
22. ★1年以内に脳梗塞や脳出血、くも膜下出血を発症した方(症状は無く、検査にて脳梗塞・脳出血・くも膜下出血を診断された方は主治医の許可があれば検査可)
23. ★腹部・胸部・脳等に動脈瘤がある方(主治医の許可があれば検査可)
24. 呼吸器疾患で酸素療法中の方
25. 脳圧亢進等で過去にシャント術を受けた、またはシャント中の方
26. 問診時または検査室で検査困難と判断された方

※10～25に該当する方は胃内視鏡(胃カメラ)検査をお勧めします。
(★19～23に該当する方でバリウム検査を希望される方は、主治医と相談して下さい。)